

日本学術会議の活動状況等に関する年次報告
 (令和4年10月～令和5年9月) 作成の方針について

1. 目的

社会に対して広く1年間の日本学術会議の活動について明らかにするとともに、外部評価有識者による外部評価の基礎資料とするため、令和4年10月から令和5年9月までの日本学術会議の活動状況を報告する冊子を作成する。

2. 構成

- ・構成については例年通り、「第1編 総論」と「第2編 活動報告」に分冊する。
- ・「第1編 総論」を10月総会において配布する。(第1編、第2編ともHP掲載)
- ・今期最後の年次報告となることから、「日本学術会議の活動」においては、3年間の取組の総括を記載する。

第1編 総論	
第1	日本学術会議会長挨拶【梶田会長】
第2	日本学術会議の活動 <u>※3年間の取組の総括も記載</u>
<特集>	
1.	会員任命問題に関するこれまでの経緯【梶田会長】
2.	日本学術会議の在り方に関するこれまでの経緯【菱田副会長】
3.	日本学術会議のより良い役割発揮に向けて
	(1) 国際活動の強化(取組状況)【高村副会長】
	(2) 意思の表出と科学的助言機能の強化【菱田副会長】
	(3) 対話を通じた情報発信力の強化【菱田副会長】
	(4) 会員選考プロセスの透明性の向上、事務局機能強化【望月副会長】
4.	分野横断的な活動
	(1) パンデミックと社会に関する取組【望月副会長】
	(2) カーボンニュートラル(ネットゼロ)に関する取組【吉村部長】
	(3) 国際基礎科学年に関する取組【野尻会員】
	(4) 未来の学術振興構想【光石会員】
5.	政府、社会に対する提言及び市民との対話【菱田副会長】
6.	国際的活動【高村副会長】
7.	科学者ネットワークの構築【望月副会長】
8.	日本学術会議を支える3つの科学部門
	(1) 第一部(人文・社会科学)【橋本部長】
	(2) 第二部(生命科学)【武田部長】

(3) 第三部（理学・工学）【吉村部長】
9. 若手アカデミー【若手アカデミー代表】
第3 活動記録
1. カレンダー
2. 一年間の規定改正について

第2編 活動報告

1. 表紙
2. 目次
3. 日本学術会議の概要（組織の概要）
4. 組織ごとの活動報告 <u>※3年間の取組の総括も記載</u>
(1) 総会
(2) 幹事会及び附置委員会
(3) 連絡会議
(4) 部
(5) 機能別委員会
(6) 課題別委員会
(7) 分野別委員会
(8) 地区会議
(9) 若手アカデミー
5. インパクトレポート